



飛騨っ子



令和8年9月16日発行 NO6
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111（内線235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp

挑 戦



< 通信【飛騨っ子】 >

□ 高山南保育園 「話そう！語ろう！わが家の約束」運動 在宅取組型

○期間：7月21日～8月21日 ○対象：全保護者 ○主催：保育園



わが家の約束実践カードのお願い （園からの案内文より抜粋）



保育参観に参加されて「お子さんの成長を感じた」「園でできることを家でもやってみよう」とアンケートに書かれた方が多くみえました。簡単なことで結構です。親子・家族での挑戦もOKです。子どもたちがどんなことをしたいか、ご家族でサークルタイムをしていただき、夏の約束をしてみませんか？
例）・あいさつをするよ！ ・ありがとうを言うよ ・寝る時間を守るよ ・歯を磨くよ ・食器は自分で片付けるよ

「話そう！語ろう」

まいにち たのしかったことをおはなしする

わが家の約束を決めよう。

月	日	約束
7/21	火	あいさつをするよ！
7/22	水	ありがとうを言うよ
7/23	木	寝る時間を守るよ
7/24	金	歯を磨くよ
7/25	土	食器は自分で片付けるよ
7/26	日	
7/27	月	
7/28	火	
7/29	水	
7/30	木	
7/31	金	

子どもからのメッセージ

まいにちはなして、たのしかったことをおはなしする

親）まいにちはなすことで、どんなことをたのしいとおもうのか、いろいろはっけんがありました！

子）たのしくなかったけど、がんばれた。これからもつづけます。がんばります。

親）「食べ終わったら1つでも持っていく」が、できました。すごい！！これからもみんなでやっています。

* カードは県のHPよりダウンロードし活用

「話そう！語ろう」わが家の約束実践カード

わが家の約束を決めよう。

月	日	約束
8/3	火	あいさつをするよ！
8/4	水	ありがとうを言うよ
8/5	木	寝る時間を守るよ
8/6	金	歯を磨くよ
8/7	土	食器は自分で片付けるよ
8/8	日	
8/9	月	
8/10	火	
8/11	水	
8/12	木	
8/13	金	
8/14	土	
8/15	日	
8/16	月	
8/17	火	
8/18	水	
8/19	木	
8/20	金	
8/21	土	

子どもからのメッセージ

まいにちはなして、たのしかったことをおはなしする

親）まいにちはなすことで、どんなことをたのしいとおもうのか、いろいろはっけんがありました！

子）たのしくなかったけど、がんばれた。これからもつづけます。がんばります。

親）「食べ終わったら1つでも持っていく」が、できました。すごい！！これからもみんなでやっています。

* カードは県のHPよりダウンロードし活用

実践カードは、以前は県から配布された三つ折りのチラシを活用されていたそうですが、昨年度から県のHPより実践カード（上記A4版）をダウンロードし活用されています。

園長さんが『サークルタイムとは、子どもたちが1つの輪になり、日常生活や行事（例：運動会）などについて、それぞれの思いを話す時間のことです。1対1ではなく1対全員で思いを伝えたり聞き合ったりする場（時間）を大切にしています』と、話してくださいました。「園でできることを家でもやってみよう」… の1つに、保育園で大切にしているサークルタイムを、わが家の約束運動を実践する際に、親子（家族）が上手く応用し約束を決めたり実践したりする家庭が増えていることを大変喜んでみえました。また、保護者の皆さんがわが家の約束運動を素直に取り組んでくれていることが嬉しく、



園だよりにて取組の様子をまとめ配布しているそうです。この実践カードは高山市が配布している「サポートブック」に綴じ、成長の足跡として保管されています。

園だよりを作成する上での工夫として、専門的な情報（例：睡眠・朝ごはん・家庭教育動画）等については、二次元コードを有効に活用し広報しています。（参照 左資料）

□ 飛騨総合庁舎 「親子キャリア体験day in 飛騨」

○日時：令和8年8月14日（金） ○場所：飛騨総合庁舎 ○主催：飛騨県事務所×関係所属

◇ **目的** 飛騨総合庁舎において、職員の子どもたちが保護者の職場を見学し、県の業務や社会の仕組みに触れ、仕事と家庭のあり方について考えるきっかけを提供する。

◇ **体験プログラム**（出勤：午前8時30分～退勤：午後5時15分）

①親子出勤・職場見学 ②自己紹介・庁舎探検（スタンプラリー・名刺交換） ③オンラインゲームの安全性 ④飛騨地域の熊について ⑤昼食 ⑥選挙について ⑦世界に誇る飛騨の観光について ⑧振り返り ⑨情報モラルかるた ⑩小学生クイズ



＜①親の職場見学（飛騨県事務所）＞



＜②スタンプラリー・名刺交換＞



＜④飛騨の熊について＞

○ 発案者の熱き思い！（産業労働係）

タブレットが配備され、在宅ワークがしやすくなってきた職場環境だけでも、仕事内容から在宅勤務しにくい職務もあります。そこで、子連れ出勤にとどめず、この機会を利用し、子どもたちに県の仕事についての理解を深めてもらい、さらには県職員への興味醸成を促す事業を展開したい！

昨年度末から、温めてきた新事業案は、県の「働いてもらい方改革」の趣旨に合わせ、今年度いよいよ実現となりました。今回参加されたのは、9家庭（子ども：14名）となりました。

○ 大人気だった「名刺交換」！

体験プログラムの中で人気が高かったのは、「名刺交換」です。帰宅後も、親子交流の中で「名刺交換が一番楽しかった」とよく話してくれたそうです。

8つの課を回りながら、最初に学んだように、初対面の人に対して姿勢を正して笑顔を忘れず、まずは訪問者側から「私は〇〇です。よろしくお願いします。」と相手に名刺を渡します。次に、相手からの名刺を「頂戴いたします。」と受け取ります。相手との信頼関係を結ぶための小さな成功体験の繰り返しで、心地よかったのかも知れません。

自分の仕事（職務）に責任をもち、自信と誇りに満ちた県職員（親）の姿に、子どもたちが憧れを抱いた瞬間だったと感じています。『いつか自分も、カッコよく名刺交換のできる社会人になりたい！』そんな声が聞こえてきます。

＜子どもの感想＞

・どのプログラムも楽しく、時間の経つのが早かったです。親の働いているところを見られておもしろかったです。名刺交換など、将来役立つことが学べました。新しい友達とも仲良くなれました。

＜保護者の感想＞

・自分の子どもが職場を見る機会がないので、親としてもとても良い機会となりました。いろいろなプログラムがあり、わが子の話を聞いてみるとたくさんの発見があったようです。
・公務員という言葉もよく分からず、大人が働いているところもどこか全くなかったわが子でしたが、職場という場所を見学できたことがとてもよい経験となりました。クマのことなど、子どもの興味が湧くことも勉強でき有意義な体験でした。

□ 飛騨市家庭教育支援チーム（ハルジオン）

○期日：令和8年8月22日（土） ○場所：古川町彩り館 ○主催：ハルジオン

◇ 家庭教育支援チーム（ハルジオン）とは … 不登校や不登校経験者の子と親などの困りごとを抱える子どもやその家族と一緒に歩む会。

・R3.4:活動開始 ・R5.9:文部科学省「家庭教育支援チーム」に登録 ・R7.12:文部科学大臣表彰受賞



◇ ハルジオン ピザ交流会（2年目）とは …

- ・同じような思いや経験をもつ人たちがピザを作ったり遊んだりゆっくり話したりする交流の場。
- ・昨年度から、生涯学習課と協働し取り組んでいます。ぎふ地域学校協働活動センター事業を有効活用し、大学生ボランティアの方々にも参加していただいています。
- ・今年度の参加者は、5家族（R7:8家族）、大学生6名（R7:7名）でした。

○ ピザづくりは、おもしろい！ …

昨年参加された保護者の感想には「ピザづくりは自分で具をのせて作る簡単なスタイル。でも自分のつくったピザ!のような達成感があります」とありました。今年も子どもたちは、生地の上にたっぷりとトマトソースを広げ、ウィンナー・ベーコン・ピーマン・マッシュマロ・チーズをトッピングしていききました。

○ 子どもたちが話しかけてくれました …

「ぼくは、第2人で7枚も焼きました。自分がつくったピザは、とてもヘルシーで美味しかったです。全部美味しかったです!」と、兄としても頑張ったことを生き生きと話してくれました。また、別のお子さんが「自分のつくったピザを家族や大学生の皆さんが、美味しいと言って食べてもらえて嬉しい!」と、話してくれました。子どもたちの笑顔は、素晴らしい。

○ 昨年も参加された大学生に聞きました …

「どうして、今年も参加されたの?」と尋ねてみると、「現在専攻している内容（教育・福祉・心理学）と将来の職業を考える上で、この交流会は大変役立っています」、そして「子どもたちと過ごしてみて分かることは、『子どもたちは、とてもよく考えているということです』」と、話してくださいました。大学生ボランティアの笑顔は、素晴らしい。

今年も「柳組」の方が、アツアツのピザを焼いてくださいました!



<参加者の感想>

- ・今年もたくさんの大学生が参加し、子どもたちと交流してくれ嬉しかったです。子どもたちにより近い感覚で接してくれているので、良い刺激となっています。私も学生さんたちのお話を聞けるのは、とてもありがたいです!!（保護者）
- ・世代や年齢に関係なく、フラットに話したり遊べたりする環境がとても良かったと思います。すてきな交流会を開催してくださり、ありがとうございます。来年もぜひ参加させていただきたいです!（大学生）

不登校の問題は、子どもだけの問題ではありません。家族（保護者）に元気（笑顔）がなくなり、塞ぎこんでいく、孤独になっていくなど、家族の問題でもあります。保護者の居場所をつくることは大切です。そして、子育ての肯定感を支えることは大切です。このピザ交流会は、同じ立場の親同士が孤立しないようつながっていたり、気持ちを整理したりヒントを得たりする安心や喜びを得る場となっています。参加者にとって顔と顔、心と心、言葉と言葉がつながり合えるピザ交流会は、心の居場所となっています。

飛騨市学園構想関連項目

2⑤⑥⑦ 3⑩ 4⑪
(Link)



* ↑家庭教育支援チーム（ハルジオン）の活動は、飛騨市学園構想に位置づいています！（ワン・タップ）

□ 令和8年度 飛騨地区社会教育委員等研修会

○期日：令和8年8月24日(月) ○会場：飛騨総合庁舎 ○主催：飛騨地区社公民連絡協議会
○対象：飛騨地区社会教育委員等

〈テーマ〉 つながりを深める社会教育 ～学びを地域づくり・人づくりに生かす～



〈日程〉

- ・13:30～ 開会挨拶
- ・13:40～ 高校生による社会教育活動事例発表
- ・15:00～ ワークショップ (高校生も参加)
講師：社会教育士・県コミュニティ診断士
- ・15:50～ 閉会挨拶



＜①【地域防災に関わること】高山西高校＞



＜②【地域防災に関わること】斐太高校＞



＜③【雷鳥保護に関わること】飛騨高山高校＞



＜④【動物愛護に関わること】飛騨高山高校＞

学校教育と両輪の関係にある社会教育の視点から、次代を担う子どもを育む環境(仕組)があることのすばらしさ(大切さ)を改めて感じました。「次代を担う子どもたちから、大人が学び、ともに地域をつくる」… そんな仕組への種まきがなされたと感じました。

そして、この子どもたちが高校を卒業し大学等で学び、再び地域社会人として飛騨に帰ってきたとき、若き社会教育委員となって飛騨についての夢を語り創造し、生き生きと活躍する姿が目に見え、嬉しかったです。

＜参加者の感想＞

Q 高校生の発表についての感想をお聞かせください。
・高校の探究活動に携わるようになって思うのは、探究とはその生徒の『生き方』とつながっているということです。ワークショップでお話した生徒さんは、「好きなことをやっていて、気づいていたらこうなっていた」と言っていました。親さんの姿から受けた影響や過去の体験・学びが地域探究に密接につながっている生徒さんは、きっとそれが将来の『生き方』につながっていくのだろうなと思いました。

Q ワークショップからの「気づき」は何でしたか。
・改めてつながりが重要だと感じました。地域活動をより良くするためには、あらゆるつながりを模索し、手を取り合うことが大切だと思います。
・教員の立場で『もっとこの活動を広げたい』という願いを持っていたとしても、自分自身がそれを後押しするだけの知識を持っていないことを痛感しました。勤務時間内(総合的な学習の時間等)で、教員の負担なく、そういったことを学べる場や生徒に提供できるノウハウが分れば、教師の立場で、もっと子どもの「好き」を育めるのではないかと感じました。

こうした高校生の主体的な社会参画の姿(願い・行動)は、幼少期からの家族との日常的な関わりが自らの「やってみよう!」活動を生み出している場合もたくさんあります。

お父さんやお母さんまたお爺さんお婆さんと一緒に編み物をしたり地域の行事に参加したりする経験の1つ1つが、「社会教育活動」参加へのきっかけをつくります。

News Letter 9月号
家庭で育む 働く喜び
(Link)

